

経営協議会学外委員からの主な意見等への対応状況<令和5年度>

経営協議会	学外委員からの主な意見等	対応状況
第141回 (令和5年9月26日)	今後の大学運営について	
	次期執行部について、若手という年齢の観点も重要だが、女性ということも考えたほうがよい。	令和6年度より5名の理事のうち、4名を交代し平均年齢が約5歳若返った他、非常勤理事として女性が1名新たに加わった。
第142回 (令和5年12月22日)	ダイバーシティについて	
	内閣府男女共同参画局のホームページに掲載され、今話題になっている匠ガールプロジェクトについても掲載するとよいのではないか。	匠ガールプロジェクトのイベント情報をホームページに掲載し、周知を図っている他、2023年版統合報告書に掲載をしている。さらに、現在制作中の2024年版でも紹介予定。
	中期計画の変更について	
	博士後期課程の定員枠を増やして、入学者は見込めるのか。	博士後期課程の入学者は、定員59名のところ例年、60名を超える入学者がおり、定員が充足している。入学者の60%は、社会人・留学生等であり、広く学外からも入学者が集まっている。また、デザイン思考・データサイエンスプログラムに博士後期課程が設置された場合について、本学が実施しているデータアントレプレナーフェロープログラムの修了者にアンケートを実施したところ、回答者の9割が博士後期課程への進学を希望していることが示されている。

第 144 回	令和 6 年度人事実施方針（案）について	
(令和 6 年 3 月 18 日)	<p>令和 7 年度人事計画のダイバーシティ環境の促進等の戦略的な観点についての記載について、「著名または多大な業績等を有する女性研究者または外国人研究者の採用提案を奨励する。」とあるが、この文章だと女性枠をつくるように誤解されるのではないか。「著名または多大な業績等を有する」という全体の基準があり、その中で女性研究者や外国人研究者もきちんと探しますということがわかるように記載方法を工夫されてはどうか。</p>	<p>令和 7 年人事計画の提案を各部局へ照会する際には、「女性枠」の奨励ではなく、「著名又は多大な業績等を有する女性研究者の招へい提案」を奨励する旨を明記して照会している。令和 7 年度人事実施方針の策定にあたり同様の方針で進める場合には、記載方法を工夫することを検討している。</p>